

## 平成 28 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 28 年 6 月 7 日（火）15：00～16：10

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：6 名 樋口美智子（那覇市立病院）、島袋 幸代（沖縄県立中部病院）、平良芳子（県立八重山病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、

欠席者：1 名 佐渡山英子（県立宮古病院）、

陪席者：1 名 井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）、

### 【報告事項】

#### 1. 平成 28 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

協議に先立ち、資料 1 に基づき、平成 28 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

#### 2. 5/19 第 7 回都道府県相談支援部会について

資料 2 に基づき、増田部会長からの報告があった。大久保委員からは、利用者アンケート調査の中間報告では、相談しなかった内容が解決したか・安心して療養生活が送れるようになったかの問いに多くの利用者が役に立ったと回答していたが、施設によるバラツキ、用紙を対象者に渡しづらい、患者側の感覚的な回答を具体的な解決策として院内に還元するのは難しい、多くの施設で年次による調査も必要などの意見もあり、これを沖縄県で進めるには、今後部会での検討が必要との報告があった。

相談件数カウント調査のパイロット調査の中間報告では、調査期間は 20 日間、相談件数は最大 672 件、最小 21 件とばらつきがあったものの、各施設のデータは施設間の 1 回の相談の解釈のずれを最小化し、国がんに提出・集計され、退院加算算定のある相談も区別されていたが、担当医からの紹介なしの飛び込みの相談が多かった。今後の全国展開については、大事なベンチマークではあるが検討が必要との報告があった。

4 月の熊本地震における対応の報告から、国がんのような情報の集約・発信のできる所の分散化（東京で災害があった場合の大阪、九州、北海道など）の必要性や体制作りが必要との声が上がっていたとの報告があった。その他、平成 27 年度の「地域相談支援フォーラム in 近畿（大阪府）」、「みのりカフェ@三重」の開催報告、平成 28 年度の地域相談支援フォーラムが、宮城県仙台市、東京都の 2 か所で開催されることが周知された。

#### 3. 九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム連絡会

資料 3 に基づき、増田部会長から、①フォーラム連絡会に関する取り決めが承認されたこと、②平成 29 年度開催が大分県で決定したことの報告があった。

未開催県について、佐賀県は、佐賀大がんセンター長からの予算がない中で自主開催する意味があるのか、持ち回りで続けるなら国がんの予算のバックアップがないと厳しいとの文書による意志表明があった。宮崎県は、やらないといけないならやるけれども予算の問題ということで、持ち帰って検討いただくことになった。未開催県で、次年度以降、国がんの公募や、勇美財団の助成などに応募してはどう

かとの提案があった。増田部会長より、沖縄県は、強化事業費を使った再現性のある予算組みにし、現況報告に実績として記載できるものにするとの周知があった。

大久保委員より、現場の方から各病院でお金を出し合ってはどうかの意見もあったが、過去の開催県より公立の病院ではプールした予算の管理が出来ないためハードルが高く難しいとの情報提供があったとの報告があった。

③フォーラム in 沖縄の開催については、実行委員の旅費（一人分）は支出すること、謝金は無しとする合意が得られたこと、当日の昼食代は自己負担となることが協議の上、了承された。

## 【協議事項】

### 1. 平成 28 年度の部会事業の行動計画について

資料 4 に基づき、部会計画の確認と、資料 5 に基づき今年度の部会員を 6 拠点病院からのみとして部会計画を遂行することが了承された。また、フォーラムの実行委員、がんサポブック 2017WG をそれぞれ立ち上げて、その中で他の施設の方を招聘することも了承された。

大久保委員より、事業計画として、がんサポハンドブック 2017 の作成、沖縄県のがん相談支援センター全体のチラシの修正、患者サロン間の情報交換会、就労支援の情報交換会（7/13 中部病院の金城社労士（琉大病院）の講習会の部会後援、3 拠点病院の事例の情報共有会）、満足度調査（国がんのパイロット調査表より）、相談支援センターチェックリスト、九州・沖縄フォーラム、部会の学会での活動報告、セカンドオピニオンリストの作成（新規、掲載方法の検討）を予定しているとの報告があった。

#### (1) 【施策 1】 地域 の療養情報 2017 年版の WG の立上げについて

資料 5 に基づき、大久保委員より、がんサポハンドブック 2017WG について、WG メンバーは、MSW、小担当 MSW、介護支援専門員、患者の立場の方、ピアサポーターの方、沖縄県地域統括相談支援センターの方、その他の医療施設の方から、7 月開催予定の第 1 回 WG に向けて、早急に選定することで了承された。

### 2. その他

#### (1) 次回、平成 28 年度第 3 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日： 平成 28 年 8 月 25 日

第 2 候補日： 平成 28 年 月 日

※ゆんたく会、がん相談件数の報告は、次回第 3 回部会にて、4～7 月分まで

<参考>

九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 沖縄の実行委員会の開催日について

第 3 回 : 平成 28 年 8 月 2 日

第 4 回 : 平成 28 年 10 月 7 日

#### (2) 部会の見直しについて

増田部会長より、部会自体が発足して 8 年になり、沖縄県では 7 つの部会がそのままの形式で 8 年続いているので見直してもいいのではないかとということ、今年中に国の第 3 次計画がほぼ確定し、7/6 の国のがん対策推進協議会でたたき台が出来てくるので、次回の部会で検討していただきたいとの提案があ

った。

(3) がん患者さんのための療養場所ガイドについて

療養ガイドの発送状況について、八重山病院の平良委員より問い合わせがあり、増田部会長から、発行済みではあるので、週明けには発送するとの回答があった。離島の診療所、役場、図書館にも発送予定であることも周知された。